

## 動物飼育情報

### 【動物飼育Q & A】(研究会の質問から) [回答：中川美穂子獣医師]

#### ○飼育活動時に手袋とマスクが必要だろうか？

Q：3学期の飼育引き継ぎ集会で、それまで一年間飼育を担当してきた4学年の子達が次年度飼育する3年生に向けに飼育の仕方を説明した「ビデオ」を見たが、飼育舎の掃除をする子達がマスクも手袋もしていないが、危険ではないか？特に飼育中に指を怪我することもあるかもしれない。

A：飼育活動が良い効果を現すためには、子どもが動物に愛着を持つことが必要。この学校ではその愛着を培うことを一番に考えているから素手で動物に触るスキンシップを大事にしている。マスクは、飼育舎内の糞が乾燥して舞い上がるような場合には、細かい汚れを吸い込むことを予防するために必要だが、この飼育舎はビデオの通り、毎日掃除をしているので、糞が舞い上がることはない。なお、作業中に怪我をしたとしても、土での作業中の怪我と同じである。良く洗って(土など汚れを落とすため)、消毒して手当をすればよい。私は開業獣医師だが、飼い主の水虫を放置したため、飼い猫に感染した事例にたびたび遭遇するが、このような「人と動物の共通感染症」というのは、動物が汚くて人に病原をうつすのではなく、同じ病気に人も動物も共通して感染する可能性があるということを使う。特にウイルス病は同じ種類間で感染する性質なので、「人に一番病気をうつす原因動物は、人でしかあり得ない。」

#### ○チャボ放し飼いで、糞の始末は？

Q：幼稚園がチャボを放し飼いで子どもと一緒に庭で遊んでいる発表があったが、糞の始末はどうしているのか？病原になると心配だ。

A：幼稚園は「毎日見回って糞をすべて掃除している、また子どもが見つけたらそれも片付けるようにしている。」と答えたが、「園児はかわいいチャボの糞にも愛着を持ち、糞とは言わずに、「ウンチ」と言うのよ」と、先生方の話し。この園

のチャボたちは元気であり、鳥インフルエンザの心配はない。また万が一元気がなくなれば、人の身近にいるため体調をすぐに把握し、対応ができる。その「ウンチの人への危険性」について、雀やムクドリ、オナガ、ヒヨドリなどの野鳥の糞とどのような差があるだろうか？チャボのウンチは、雀の糞より大きいから掃除した方が庭が綺麗に見えるとの意味があるが、万民が雀の糞を毎日掃除しないまま上を歩いている現実を考えれば、ことさらに「チャボのウンチをすべて取り去れない場合」でも衛生上の危険が大きいとは言えない。人に一番病気をうつす動物は同種である人なのだから、それ以外の動物種にそれほど過敏になる必要は無い。

#### ○ウサギを抱くのはストレスにならないか？

Q：子どもに動物を抱かせていようだが、ウサギはストレスを感じると聞いているので、抱かない方が良いのではないか？

A：もう何十年もウサギやチャボを子どもに触れあわせる指導をしているが、大事なことは子どもに、動物を怖がらせないような扱いを教え、動物を気遣いながら抱いて、優しい心で慰めることができるように指導すること。優しく抱かれれば、ウサギもチャボも人を好きになり、抱かれることが好きになる。そのために最初のふれあいには学校獣医師が保護者に扱いを実習してもらい、獣医師と保護者の支援ですべての子がウサギを怖がらせずに抱く体験をできるようにしている。この「気遣いながら抱く体験」無しでは、子どもは動物に優しくなれないし、ウサギを親身に心配することもできない。

#### ○ウサギやチャボ以外の動物は扱わないの？

Q：馬や山羊も取り上げて欲しい。

A：学校等では、「いつでもどこでも誰でもできる飼育活動」を目標に、大変な負担を避けて大きな効果を引き出して欲しい。大変過ぎる飼育は、子どもに良い影響を与えない。その観点からすると、昔からのウサギとチャボ、モルモットなどが世話が楽で、かつ子どもに深い愛着を培い、大きな効果を得る事が出来る。

## 【動物飼育NEWS】

### [学会発表]

- 平成22年1月9日，第88回日本生物教育学会で中川美穂子（全国学校飼育動物獣医師連絡協議会 白梅学園大学大学院），中島由佳（日本学術会議）鳩貝太郎（国立教育政策研究所）無藤隆（白梅学園大学大学院教授）等は，「幼稚園から高校までの教育課程に位置づけた動物介在教育あり方」をパネル発表した。
- 平成9年11月，東京農工大学で開催された動物観研究会公開ゼミナール2009で，中川と中島が，「動物飼育体験の子どもへの影響：動物に関する知識および心理的成長について～小学4年時から6年時までの縦断調査研究（概要報告）」を発表した。
- 平成21年11月28日，大宮で開かれた児童虐待防止学会で，中川事務局長が，「人の基礎を作る学校での動物飼育体験～相手の気持ちを思いやり共感させる神経を培う」との話題提供を行った。
- 平成21年10月3日，日本獣医師会主催の動物感謝の日に，研究会として参加。全国の獣医師会と交流した。また獣医学生には，獣医師会の社会的な役割としての，動物飼育支援の意義とあり方を伝えた。

### [行政による飼育支援事業]

- 兵庫県尼崎市
  - ・平成21年6月25日に市獣医師会と「学校飼育動物適正指導等委託契約書」締結。
  - ・活動内容は，飼育活動校に対して，飼育相談，児童の飼育委員会指導，及び治療等（他校への対応は各獣医師の裁量）を行う。また，希望施設への訪問活動，学校の動物を使用したふれあい教室を行う。また，教員研修会に獣医師会は年二

回講師を派遣する。事業費は61万円。兵庫県では明石市，西宮市について3市目となる。

### ○京都市

- ・平成10年から京都市は獣医師会から，生活科研究会に講師を招きふれあい指導を行ってきた。また診療や学校でのふれあい指導について協力を求めてきた。来年度，市行政は正式に委託契約を結び，従来行ってきた動物飼育支援を獣医師会に事業委託する。

### ○岐阜県下呂市

- ・平成20年度から獣医師会と学校等飼育動物の管理指導業務委託を締結し，12小学校と幼稚園の動物飼育を支援する。
- ・委託事業費は年に12万円。1校1万円の事業費で，獣医師会の支援内容は，①学校飼育動物の現状調査と飼育施設の適性管理指導。②動物の飼育指導及び保健衛生指導。③飼育動物の健康診断。④家畜伝染。病予防法にもとづく予防接種（鶏類に対するニューカッスル病ワクチン接種）。⑤人畜共通感染症予防指導（0-157〈ウサギ〉，サルモネラ〈鶏〉糞便検査）。⑥児童や教職員を対象にした講習会の開催。⑦砂場の虫卵検査，大腸菌群まで検査であるが，獣医師会への負担が大きいと言えるだろう。

### [本会顧問に日本獣医師会会長就任]

2010年2月，社団法人日本獣医師会の山根義久会長が本会の顧問として就任した。日本獣医師会は，全都道府県と政令都市の55地方獣医師会から構成されている。役所や会社に勤務する勤務会員と大動物や小動物開業会員，そしてOBからなる合計3万人。

## 【本会が関係する研修等】

- 平成21年12月10日（木）東京都港区愛育幼稚園 保護者向け講演会  
時間：9時45分～11時15分  
内容：講演「言葉では伝えられない～心・いのち・脳をはぐくむ教育～」  
講師/中川美穂子  
対象：園児保護者 約90名  
主催：愛育幼稚園
- 平成21年12月11日（金）東京学芸大学 大学講義1（生活科講座）  
場所：学芸大学附属小金井小学校  
時間：8時50分～10時20分

内容：「学習指導要領にもとづいた飼育活動のあり方と成果～楽しくらかな継続飼育活動～」

講師/中川美穂子

- 平成21年12月13日（日）神戸りぶ・らぶ・あにまる神戸アニマルケア国際会議  
会場：神戸国際会議場  
内容：ワークショップⅧ「チャイルドケアとアニマルケア」  
I部「子どもたちに，意義ある動物体験を与えるために」  
講師/中川美穂子

○平成21年12月17日（木） 青森市

青森県学校飼育動物講習会

会場：ホテル青森

時間：午前10時30分～16時

内容：

- ・10時30分～12時（青森県の状況）
    - ①「青森県における学校飼育動物の現状と今後の方向について」  
講師/佐々木勝規  
（青森県教育庁学校教育課指導主事）  
講師/島浦 靖（青森県総合学校教育センター指導主事）
    - ②「八戸市における学校飼育動物への取り組みについて」  
講師/高谷信行（八戸市教育委員会教育指導課指導主事）
  - ・13時～16時（全国の状況・質疑応答）
    - ③「負担の少ない楽しい継続飼育を支援する」  
講師/中川 美穂子
    - ④「学習指導要領の改訂と生活科について」  
講師/田村 学（文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官）
    - ⑤質疑応答  
講師/田村 学，中川美穂子
- 対象：教育関係者，獣医関係者 ほか  
主催：社団法人青森県獣医師会  
問合せ先：社団法人青森県獣医師会  
TEL 017-722-5989  
FAX 722-6010

○平成21年12月18日（金） 東京学芸大学

内容：講義とふれあい実習

「学習指導要領にもとづいた飼育活動のあり方と成果」2

～楽しくらかな継続飼育活動～

ふれあい指導実習

講師/中川美穂子

益田矩之（同校の学校獣医師）

○平成22年1月14日（木） 神奈川県

（大和・海老名・座間・綾瀬）の合同研修会

内容：「なぜ学校で生き物を育てるの？  
その教育効果

～獣医師との上手なかかわり方～

講師/中川美穂子

主催：神奈川県央四市学校飼育動物連絡協議会

（獣医師会相模支部と四市教育委員会）

○平成22年1月19日（火）久喜市教員研修

内容：講義と実習「負担の少ない，楽しい動物飼育と教育的効果」

講師/中川美穂子

主催：久喜市教育委員会

協力：久喜市獣医師会

○平成22年1月26日（火）東京都港区

港区私立幼稚園PTA連合会

内容：講演「動物との交流が，子どもの生涯に与える影響～心・いのち・脳をはぐくむ～」

講師/中川美穂子

主催：港区私立幼稚園PTA連合会

○平成22年2月4日（木） 山形県

講演：「学校飼育動物を介した情操教育の指導方法について」

講師/中川美穂子

参加者：県教育庁教育委員義務教育課

獣医師会学校飼育動物部会委員

小動物開業獣医師

家畜保健衛生所職員

保健所職員

主催：社団法人 山形県獣医師会

○平成22年2月11日（木） 宮城県仙台市

時間：15時～17時

場所：仙台市シルバーセンター

内容：講演「負担の少ない，楽しい継続飼育と教育的効果」

講師/中川美穂子

対象：獣医師・教育関係者など

主催：社団法人宮城県獣医師会

後援：全国学校飼育動物研究会

問合せ先：（社）宮城県獣医師会 TEL022-297-1735

○平成22年2月15日（月） 岡山県

時間：13：15～16：00

場所：岡山ふれあいセンター

内容：(1)「学習指導要領の改訂と生活科について」

講師/田村 学（文部科学省初等中等教育局 教育課程課教科調査官）

(2)「園・学校における負担の少なくたのしい飼育活動と成果」

講師/中川美穂子（（社）日本獣医師会 学校動物支援対策検討委員会副委員長/全国学校飼育動物研究会 事務局長）

対象：教育委員会，幼稚園・小学校教員，保護者，獣医師会員など

主催：社団法人岡山県獣医師会

後援：全国学校飼育動物研究会

○平成22年2月21日（日） 大阪市

一般社団法人日本小動物獣医師会平成21年度学校飼育動物市民公開講座

内容：＜講演＞

講師/田村 学（文部科学省教科調査官）  
「学校指導要領の改訂と生活科」  
宮川 保（一般社団法人日本小動物獣医師会理事）  
「学校（園）での動物の飼い方、接し方」

＜実習＞

講師/寺田芳徳（社団法人大阪府獣医師会）  
「ふれあい教室の実際」  
清水かおり（社団法人大阪府獣医師会）  
「教員研修の実際」ほか

主催：一般社団法人日本小動物獣医師会

○平成22年2月21日（日） 岐阜県

学校動物飼育シンポジウム

内容：基調講演 13:20～14:40

「子供の発達と飼育体験」

講師/鳩貝太郎（国立教育政策研究所総括研究官/本会副会長）

「理科における生命の学習指導」

講師/村山哲哉（文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官）

国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官）

発表 14:50～16:00

「みんなで支える学校での動物飼育」

本巣市立弾正小学校

教諭・児童代表、PTA 代表

岐阜大学学校飼育動物サークル

学校いきものがかり

（社）岐阜県獣医師会

主催：（社）岐阜県獣医師会

○平成22年2月24日（水）東京都葛飾区

教員研修 学校飼育動物講習会

内容：「生活科・理科・総合・特別活動における生命尊重の指導」

－継続飼育とその教育的効果と病気やけが、死への対応－

講師/中川美穂子

主催：葛飾区教育委員会

○平成22年3月7日（日） 沖縄県

一般社団法人日本小動物獣医師会平成21年度学校飼育動物市民公開講座

内容：

＜講演＞林 典子（ハロー動物病院）

「ウサギの臨床」

處 愛美（一般社団法人日本小動物獣医師会理事）

「動物飼育の意義と獣医師の役割」

主催：一般社団法人日本小動物獣医師会

## 【本会主催または共催の動物飼育に関する講習会案内】

[ワークショップ]

- ・日時：平成22年8月10日（火）13時～
- ・会場：東京学芸大学附属小金井小学校（中央線小金井駅または国分寺駅下車）
- ・内容：講義と実習「飼育の基礎とふれあい授業の指導」
- ・講師：中川美穂子 本会事務局長
- ・主催：全国学校飼育動物研究会
- ・共催：小金井市教育委員会、小平市教育委員会、国分寺市教育委員会、東京学芸大学、社団法人東京都獣医師会

[共催の講習会]

- ・日時：平成23年8月28日（土）
- ・会場：ホテルラフォーレ東京（山手線品川駅下車10分または京浜急行北品川下車3分）
- ・内容：日本小動物獣医師会市民公開講座

- ・テーマ：「学校動物の継続飼育～意義と獣医師の支援の在り方」
- ・講師：田村学先生（文部科学省教科調査官）、阿部俊範先生（日本小動物獣医師会委員/宮城県獣医師会）、日置光久先生（文部科学省視学官）、中川美穂子先生（本会事務局長/日本獣医師会副委員長）
- ・主催：一般社団法人日本小動物獣医師会
- ・共催：全国学校飼育動物研究会
- [第13回 全国学校飼育動物研究大会]
- ・日時：平成23年2月13日（日）
- ・会場：岐阜長良川国際会議場
- ・内容：研究発表・実践発表等
- ・共催：（社）岐阜県獣医師会  
（社）日本獣医師会
- ・後援予定：文部科学省 岐阜県教育委員会他
- ・その他詳細未定